

大潮だより

まる
円山
やま

第14号

発行年月日
平成22年6月1日

発行者
大潮の里をまもる会



「大潮の里をまもる会」発足

3月21日、旧大潮小学校講堂で「大潮の里をまもる会」設立総会が開催されました。

総会には島津市長をはじめ、多数の来賓や会員の皆さん、大潮ファンクラブの方々など約90名参加され、発起人から、設立にいたるまでの経緯や大潮地域ビジョンの説明があり、会の規約や理事・役員を選任、事業計画や収支予算案などが承認されました。

大潮地区では高齢化が進み、自治会の活動や農作業、生活環境の維持が難しくなりつつあり、これからも安心して大潮で暮らし続けていくためには、元気な大潮地区にする地域づくりが必要となってきました。

そうした中、昨年3月に「大潮地域づくり検討会」が立ち上がり、各自治会から推薦された検討委員で、「大潮地域の美しい自然や伝統を守り、安心して住み続けられる地域づくり」を目指す「大潮地域ビジョン」が策定され、これを実行するための組織として「大潮の里をまもる会」が設立されたものです。

石川光生会長は「本会の設立により、大潮地区の皆さまはもとより、大潮出身者やこの会の趣旨に賛同される方々の参加をいただき、各自治会をはじめ大潮地区にある組織との連携を図りながら、各組織が行うビジョン実現のための活動を支援して行きたい」決意を述べました。

総会終了後には、錦川源流の碑周辺でサクラやモミジの記念植樹をしました。

大潮地域ビジョン決定

去る3月21日、旧大潮小学校講堂で開催した「大潮の里をまもる会」の設立総会で、「大潮の美しい自然や伝統を守り、安心して住み続けられる地域づくり」をテーマにした「大潮の地域づくりビジョン」が、出席者全員のご賛同で決定しました。大潮の里をまもる会では今後このビジョンの実現に向けて活動を進めます。

限界集落ってなに？

☆ 限界集落ということばを耳にされたことがあると思いますが、集落とは人が集まって住んでいる場所をいい、私達の社会生活の基本的な単位です。

その集落が高齢化の進行により、存亡の危機に面し、限界にきていることを限界集落と言います。

大潮はどうなの

☆ 私達の住む大潮地域もそのような現実と直面しています。

働けなくなることによる収入の減少、一人暮らし、高齢夫婦世帯の増加、医療や介護の問題などから地域の元気が失われ、住民総出でやった冠婚葬祭も満足にできなくなり、伝統文化や芸能が廃れることも予想されます。

じゃアー頑張らなくっちゃ

☆ しかしながら錦川源流の山紫水明の地「大潮」の山や川、美しい田んぼや集落の風景は私たちの誇りです。

いま、私達は大潮の美しい自然や伝統を守り、安心して住み続けられる地域づくりをし、次世代に引き継ぎたいと考えました。

みんなで取り組みましょう

☆ みんなが安心して住めるよりよい大潮を目指して「大潮地域づくり検討委員会」で話し合いを重ね、みんなが共有できる目標として「大潮地域ビジョン」を作成しました。

一人ひとりができることから活動に参加・協力して、住みよい魅力ある大潮になるよう実践しましょう。

総会後の記念植樹



もち米づくり交流の田植え

「地域づくり」とは
それぞれの思いを実現できる場づくり

- 各自が関われることをやっぴいこう
- 自分が関わらない活動についても、お互いに認め合おう

大潮の里をまもる会の活動 6つの柱

- 1 美しい自然を守り、快適な地域にしよう
- 2 みんなが集い、助け合える地域にしよう
- 3 伝統を後継者に引き継いでいこう
- 4 農地を守る営農のしくみを作ろう
- 5 施設を有効活用して地域を活性化しよう
- 6 地域の資源を生かし地域の人が活躍できる交流活動をしていこう

ビジョンを実現するための地域づくりの考え方は地域残しであり、人材起こしです。

次回は具体的な行動計画を、お知らせします。

大潮の あんなこと こんなこと

中山間直接支払い 大潮で一本化へ

第2期の中山間直接支払い制度が昨年度で終わり、引き続き第3期対策が実施されます。

大潮地区では、前回実施していた集落のなかにも、単独では実施が難しいところや、実施していない集落も、全域を一本化すれば取組が可能との声があります。

さらに全国的にも、町単位ぐらいの広域的な実施で、交付金を有効利用して地域づくりをしている例が沢山あることから、3期目の事業は大潮地区全域を1協定として取り組むこととし、計画を立てる話し合いをすることになりました。



ほ場整備が完了

(葉の内・小潮・倉谷・桶山)

平成18年から工事が進められていた大潮の5地区のほ場整備工事が完了し、小河内を除く4地区の権利者会議も無事に終わり、今年8月ころには換地業務が完了する予定です。

大潮の里を守る会の設立にあわせて集落営農法人立ち上げの協議も進められていますが、今後は広く整形されたほ場を有効活用し、美味しいお米や大豆などが生産され、大潮の農産物のブランド化が図れるといいですね。

5月初旬、自分の持分も確定した桶山地区の田んぼで田植えがおこなわれていました。



一本化での取組みをみを協議する委員



縦走路沿いのカタクリ

カタクリ満開(弟見山)

周南市の最高峰「弟見山(1,085m)」の山頂付近の登山道沿いに、4月中旬ごろから自生のカタクリの可憐な花が咲きはじめ、登山者を楽しませていました。

昨年、縦走路が整備され、この花を見に遠くから訪れる登山者もあり賑わっていました。

自生のカタクリ、県内では寂地山(旧錦町)と弟見山にしかないと、貴重な存在で、大潮地域のみならず周南市の宝物です。

ちなみに今年の山口県高校総体登山競技は、あざみ・弟見ルートでおこなわれました。(5月29〜30日)

お達者さん紹介



蔵永マツエさん
周南市大潮戸根

仕事をするのが楽しみですね！

今回は戸根の蔵永マツエさんを訪問しました。

5月の暖かい日でした。

「こんにちは」と声をかけると、畑の中から元気な返事が返ってきました。

色々お話しする中で、「生年月日は大正12年1月31日、西暦でいうと1923年で87歳です」と答えられるほど、とても元気なおばあちゃんです。

楽しみは畑の草取りなど仕事をする事だそうです。

昨年12月に誤って床で転んだけど、幸い骨折など大怪我にならずにすみ本当に良かったと言っておられました。

一人暮らしのため何でも一人でこなされていますが、昨年は1年間班長をつとめられたそうです。

どうぞその意気で身体に気をつけて益々お元気で長生きされてください。

賑わうホタルまつり



間もなく清流の風物詩ホタルの乱舞する季節を迎えます。恒例の「大潮ホタルまつり」も9回目を迎えますが、今年も新に発足した「大潮の里をまもる会」の主催で6月19日に「錦川源流ホタルまつり」として開催することになりました。大潮で最大のこのイベント、準備から本番の運営まで、多くの人手が必要です。大潮の皆さんはもとより、他出後継者や、大潮ファンクラブの皆さんのご協力とご来場をお願いいたします。

「みんなでもんたるとで成功させましよう」

編集後記

今年の春は全国的に記録破りの異常低温が続き、野菜が高騰するなど、国民生活に影響を与えました。

農家にとっても農作物の不作を予感させる春でしたが、ここに来て漸く天候も持ち直してきましたようです。

古来、コブシの花で豊凶を予想してきましたが、今年の花の少なさが、さてどう出るのでしょうか？

昨年からの「大潮むらづくり検討委員会」で協議が進められていた「大潮地域ビジョン」ができてき上がり、ビジョンの実行組織「大潮の里をまもる会」が発足しました。

今後は、多くの皆さんの力を結集したこの会の活動によって、大潮に元気がでることが期待されます。

14号を数える「円山」、前号まで大潮地区活性化推進協議会で発行してきましたが、本号から「大潮の里をまもる会」の機関紙として発行することになりました。大潮地域ビジョン実現のための活動情報の共有化の一翼を担うことができるよう努めます。

ありがとう円山

これからも見守って頂いてください！



防府市
石川博基さん

寄稿

大潮の地にしっかりと腰を下ろし、いつの世も人々を見守り続けてきた円山。ときには紅葉に染まり、ときには白山と化し、また時には桜と新緑に覆われ、四季折々の姿は錦川に映え、そのコントラストはすばらしい景色となる。

昭和35年までの6年間通った思い出の大潮小学校。

遠足といえば目の前の円山へ、お弁当と水筒を入れたりリュックを背負いよく登ったものである。

そんな円山も、今ではすっかり広葉樹や植林に覆われ、姿が一変した。

しかし春はヤマザクラ・ツツジが山肌を被い、これまた美しい。

地元の人々を和まし、国道を行き交うドライバーを癒している。

円山といえば大潮小学校校歌を思い出す。学校は閉校されたが、講堂の一角に校歌が記された額が大事に保管されている。

過日、管理人の潮田博美さんにお忙しい中、仕事の手をとめて、当時の思い出を聞かせていただきながら、歌詞原本を見せていただいたが、あまりの達筆に読み難い。

そこで、鹿野図書館を訪ね、「開校80周年記念『八〇年の歩み』」より、なんと50年ぶりに歌詞・楽譜を拝見することができ、大変感激した。

円山は今も大潮を見守っている。

3月、大潮小学校を卒業した人々をはじめ多くの方々が立ち上がり「大潮の里をまもる会」が設立された。

歴史と伝統のふるさと、山紫水明の自然環境に恵まれた大潮を守っていくために、「大潮に行ってみよう」と言っていただけの地域にしていけるために、微力ながらご協力できればと思っている。